

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2023～2024年度 国際ロータリー ゴードンR. マッキナリー 会長テーマ

CREATE HOPE in the WORLD 世界に希望を生み出そう

創立 1954年3月8日
承認 1954年3月30日例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL <0566>22-2111
FAX <0566>25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 加藤 英樹
幹事 石川 泰隆
会報委員長 岡田 行永

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第3220回例会プログラム

[当年度=18回目；当月=1週目]

2023年（令和5年）12月4日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

12:15 〈食 事〉

12:28 1. チャイム

12:30 2. 点 鐘……〈会 長〉

3. 開会宣言

4. 国歌斉唱

5. ロータリーソング斉唱……奉仕の理想

6. 講師・ゲスト並びにビジター紹介

7. 会長挨拶並びに会長報告

8. お祝い

(誕生日祝・結婚記念日祝・入会記念日祝)

9. 幹事報告

10. 出席報告

11. 委員会報告

12. ニコニコボックス報告

13. 次週並びに次々週のプログラムの予告

(12/11) ……クラブ総会

次年度理事役員選出

(12/18) ……クリスマス家族会

(親睦活動委員会)

18:00～

名古屋マリオットアソシアホテル

13:00 14. 本日のプログラム

新会員アワー 北野 達生 会員

" 杉浦 裕司 会員

15. 謝 辞

16. 点 鐘……〈会 長〉

17. 閉会宣言

13:30 18. 散 会

出 席

会員総数 98名 出席免除 26名
出席義務者+免除者の内例会出席者 91名
欠 席 7名 出席率 92.31%
前々回(11/27)の修正出席率 100%

会 長 報 告

- 1) 第2760地区 2022-2023年度 箆橋ガバナーより、ロータリー財団年次寄付優秀クラブ、総額上位5クラブの表彰状が届きました。
- 2) RI ロータリー財団より、マルチプルポールハリスフェロー2回目のバッジが佐野彰彦会員に届いております。



幹 事 報 告

- 1) 12月のロータリーレートは1ドル147円となりました。
- 2) 本日例会終了後に特別会議室にて、第2回次期理事・役員候補者指名委員会を開催致します。関係の会員はご出席をお願い致します。

会長あいさつ

加藤 英樹



今月12月は「疾病予防と治療月間」です。疫病には、天然痘・赤痢・コレラ・インフルエンザ・結核・コロナウイルスなどがあげられます。最近の疫病といえばコロナウイルスだと思いますが、自分の記憶にあるものは天然痘であります。子供のころ種痘をした思い出がある自分にはいろいろな意味で思い出深い疫病です。

しかし今では、天然痘は人類が初めて根絶した疫病として有名です。

天然痘は、伝染力、罹患率、致命率の高い疫病として古くから知られていました。日本の古代においても天然痘だと考えられる感染症の流行が度々起こっていた記録が残っており、近代においても明治時代には年間2万人から7万人程度の患者が発生する規模の流行が6回程発生しているそうです。第二次大戦後の1946年にも2万人程度の患者数の流行がみられ、この間約3,000人が死亡したといわれますが、天然痘ワクチンの緊急接種などが行われ、1956年以降国内での発生は見られていません。

天然痘の予防法の発明は、今に続くワクチン開発の原点です。イギリスの開業医、エドワード・ジェンナーが天然痘の予防法として、ワクチンの先駆けである種痘法を発明したのは1796年のことです。

そもそも天然痘は天然痘ウイルスの感染によって引き起こされます。天然痘ウイルスは200~300nmのエンベロープを有するDNAウイルスで、オルソポックスウイルスに分類されます。オルソポックスウイルスには、天然痘ウイルスの他に、牛痘ウイルス、サル痘ウイルス、ワクシニアウイルスなども分類されています。低温・乾燥に強く、アルコール・ホルマリン・紫外線で容易に不活化することができます。

1958年、世界天然痘根絶計画がWHOの総会で可決されました。当時、世界33カ国に天然痘は存在し、発生数は年間約2,000万人、死亡数は年間400万人と推計されていました。ワクチンの品質管理、接種量の確保、資金調達などが行われ、100%接種が当初の戦略として取られました。しかし後に、徹底的に患者を見つけ出し患者周辺に予防接種を行う「サーベイランス・封じ込め作戦」に戦略を変更しました。その効果は著しく、1978年の患者発生数の報告を最後に地球上から天然痘の発生数の報告はなくなり、1978年から2年間の監視期間を経た1980年5月、WHOは天然痘の世界根絶宣言を行いました。計画開始から22年で達成しました。以降、現在までに患者の発生数の報告はありません。

さて、ロータリーが人類史上第2の根絶を目指しているものに「ポリオ」があります。「ポリオ」については、1988（昭和63）年5月の世界保健総会における決議に基づき、WHOによるポリオ根絶に向けた取組（世界ポリオ根絶計画 Global Polio Eradication Initiative

(GPEI)が推進されています。日本国内においては、1981（昭和56）年以降、野生株のポリオウイルスによる発症例は報告されていません。また、我が国を含む西太平洋地域においても、2000（平成12）年以降、地域外からの輸入症例を除き、野生株のポリオウイルスによる発症例の発生はありません。かつて世界中に広がっていたポリオの発症は、現在3カ国と一部地域に限られています。

根絶となるにはまだまだ地道な努力が必要です。ロータリアンのたゆまぬ努力の継続が重要だと考えられます。刈谷ロータリーでも機会を見つけてポリオ根絶の募金活動やPR活動を続けていきたいと思っています。

ちなみに、「ベン・ハー」と言う映画の吹替え版や「砂の器」の中で「疫病」と言っていた病気があります。この病気は「ハンセン病（らい病）」の事です。「らい菌」に感染することで起きる病気です。

ハンセン病患者の見た目に見られる異常や、感染するかもしれないという恐怖から、世界各地でさまざまな差別や排除が行われてきました。20世紀に入り、特効薬もできて完治する病気になってからもなお、「らい予防法」によって療養所に強制収容されるだけでなく、家族たちに差別被害がでないように偽名を無理やり名乗らされたりしていました。

人間は必ずしも正しいことばかり行うわけではありません。間違っていたならば早く正しい方向に修正できる場所は人間の良いところだと思います。これからも正しい情報の元に行動したいものです。

お 祝 い

12月の会員の誕生日…杉山欣輝、杉浦世志朗、加藤繁則、宮川清、杉浦守康、藤井邦彦、中川耕児、新美大輔会員。

配偶者の誕生日…盛田俊子（豊一）、鈴木千春（豊）、吉原梅世（孝彦）、磯部明子（一智）、宮地奈々美（秀将）様。

結婚記念日…小林祥浩、宮川清、久米博明、北野達生、磯部一智、花井淳会員。

12月度入会記念日…池田憲司、内藤耕造、久米博明、小川耕示、角谷広高、深谷嘉英、磯部一智、杉浦守康会員。

新 会 員 ア ウ ー

北野 達生 会員



7月に伝統と格式ある刈谷ロータリークラブ入会させて頂きました株式会社デンソーの北野と申します。本日は貴重なお時間を頂き誠にありがとうございます。私は昭和43年6月7日に生まれ、現在55歳です。名古屋で生まれ、高校ではバスケットボールに没頭、目指せ！県大会レベルでしたが、楽しく青春を謳歌しておりました。

大学入学と同時に花の都「東京」での下宿生活が始まりました。当時はバブル経済の華やかな時代で、世の中

全体が浮かれていた中、私は風呂無し・トイレ共同の4畳半での下宿暮らし。昔のヒット曲「神田川」さながらの生活を楽しく満喫しておりました。

家族は妻、子供2人、猫1匹です。住まいは名古屋市西部の海部郡大治町にあります。大治町は名古屋のベッドタウンで、人口密度が名古屋市に次いで愛知県で第2位です。確かにいつもどこかでマンション・アパートが建てられています。

株式会社デンソーは、「環境」、「安心」、「共感」の3つをキーワードに、従来から注力している「環境」・「安心」の提供価値を最大化することに加え、社会から「共感」頂ける新たな価値の提供を通じて、笑顔広がる社会づくりに貢献していくことをコミットしています。そして、地球にやさしく、すべての人が安心と幸せを感じられるモビリティ社会の実現に向け、新たな価値を創造し続ける企業であり続けることを宣言しています。

私は1991年に入社し、本社で勤務した後、2014年に中国天津に赴任しました。中国では刺激的な毎日を送りました。帰国後、刈谷を中心に障害者福祉支援を展開しているNPO法人に出向し、ここで「働くことの意味」を深く考えるかけがえのない経験を積むことができました。

これまで仕事を通じて、たくさんのお客様、地域の方々に出会い、多くのことを学びました。今後も、刈谷ロータリークラブの諸先輩方からご指導賜り、地域社会に少しでも貢献できるよう精進してまいります。

新会員アワー

杉浦 裕司 会員



伝統と格式のある刈谷ロータリークラブに7月24日に入会させて頂きました、大興運輸の杉浦でございます。

本日は自己紹介と会社の紹介をさせて頂きます。

私は1963年9月生まれの60歳です。

出身は高浜市、現在は碧南市に在住しております。

家族は、妻と子ども3人です。

長男・次男は大学卒業後、社会人としてそれぞれ別々に住んでおりますので、現在は妻と三男と3人で暮らしています。

趣味は、将棋と園芸です。

将棋は、毎朝、新聞で棋譜を見ています。小学4年生から50年続けています。社会人になってからは、会社の同僚相手に指していました。また、テレビでABEMAをよくみます。

園芸は、30年前に始めました。今年の夏には朝顔を12種類蒔きました。約80種類の朝顔の種から、毎年新しい朝顔を蒔いています。

次に略歴を紹介させて頂きます。

地元の小中学校を経て、刈谷北高校を卒業し1982年3月大興運輸(株)に入社しました。

高校ではラグビー部に所属しました。

社会人の略歴は、入社後配属は刈谷にあります本社、その後安城支店、本社勤務となり 現在に至っております。本社では経理部門を通算25年と勤め、その後人事総務部門を担当しております。ここ数年は「2024年問題への対応」を進めています。

当社は公共の道路を使用する運送業です、安全第一と考えて全社で様々な交通安全活動に取り組んでいます。

また、東日本大震災の際は「緊急支援物資」の輸送を、自治体等から依頼をうけて運行しております。緊急支援物資輸送を担うドライバーは、物流のプロとしての誇りをかけて、トラックを走らせます。被災者の生活を守りたいとの想いは、わたしたち物流会社が、職業を通じて社会奉仕することに結びつくのではないかと思います。

刈谷ロータリークラブでは学びながら地域貢献してまいりたいと思っております。

ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。